

里帰り 御厨祭に想う

広島県支部 専務理事 渡辺 高守(昭和49年卒)

広島県支部は、平成21年以來、地域で開催される祭りに参加する等、地道な活動から校友の輪を広げております。そんな中、十月開催の御厨祭に参加しました。参加にあたり第二のふる里で青春の足跡の一部でも発見できるかなと思っていましたが、四十年の歳月はキャンパスの風景を大きく塗り替えていました。

当時の面影を探すどころか新館が建ち並び、近代化されたキャンパスに多くの女子学生が笑顔で行きかう光景に、只々驚くばかりでした。そんな驚きの中、校歌に謳われている「百尺高き時計台」の「谷岡記念館」を見上げると瞬時に四十年前の青春時代に戻ることができました。

時は過ぎ去るものですが青春時代

の足跡を見つけた時、四十年余の時間を巻き戻すことができました。この時代があり今日があることを実感いたしました。可能な限り大商大の歴史の語り部としていつまでも「谷岡記念館」を存続していただきたいと思

います。

そんなことを思いながら「時計台 青春の時 永遠に」と手帳に書き記し、青春の時計を現在時刻に合わせ思い出多き大阪を後にしました。

